

社会福祉関係団体の長 殿

社会福祉施設等における雇用管理改善・労働災害の 未然防止による魅力ある職場づくりに関する要請書

貴団体におかれましては、平素より労働行政の運営に当たり、御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

我が国においては急速に少子高齢化が進展し、今後、経済活力を維持し一層の向上を図るためには、働き方を見直すことが求められているところです。

こうした中、本県の社会福祉施設等においては、人手不足が顕著な状況にあり、例えば介護職について平成 28 年 7 月の有効求人倍率が 2.69 倍と極めて高い状況となっております。

社会福祉施設等で働く人材を質と量の両面から確保していくためには、労働者の雇用管理の一層の改善を図っていくことが喫緊の課題となっております。

このためには、社会福祉の仕事の魅力を内外に力強く発信するとともに、そこで働く労働者が誇りを持ってその能力を十分発揮して働くことができる環境をさらに整備することが重要です。

具体的には、

- ・一般労働条件の確保・改善
- ・仕事と生活の両立支援などの職場環境の整備
- ・労働者のキャリア形成の仕組みづくり
- ・非正規職員の待遇改善及び正規職員への転換の促進

などの事項への一層積極的な取組みが望まれるところです。

さて、10月1日から7日までの間、全国労働衛生週間が実施されることとなっております。社会福祉の職域においては、利用者へのサービスが優先されることから、つい無理な姿勢で介助し腰痛等を生じたり、浴室で足を滑らせて転倒する等の労働災害や、施設と利用者宅間の移動中の交通労働災害も発生しているところです。

この全国労働衛生週間の機会を捉え、職場における腰痛等の労働災害の予防対策を一層推進していくとともに、働き方改革を見据えた雇用管理の改善への取り組みについて一層の御協力をいただきますよう、会員事業所への周知方、よろしくお願い申し上げます。

平成 28 年 9 月 29 日

岡山労働局長 金 田 弘 幸